

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 2月 ●日

事業所名： フラープ

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・各活動に応じて部屋を移動したり、パーティーションでしきり落ち着いてすごすことができるよう工夫している	(ご意見なし)	・利用人数や活動内容に応じて十分なスペースを確保していく
	2	職員の適切な配置	・児童発達支援、放課後等デイサービス事業それぞれに適切に配置できている	(ご意見なし)	・児童発達支援、放課後等デイサービス事業それぞれに適切に配置し安全な療育を継続していく
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・活動する部屋や内容について、見通しがもてるよう視覚支援に取り組みを行っている ・段差などできる範囲で整備を検討している	・一軒家なので難しいところはあると思うが年々良くなっていると感じる ・古い建物なのでバリアフリー化は難しいのかなと思います	・賃貸なので完全なバリアフリー化は難しい ・わかりやすい構造化や特性に応じた視覚支援などで環境整備に取り組んでいく
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の部屋の清掃、消毒を行い整理整頓をおこなっている ・定期的に行っていた玩具の消毒は、コロナ禍においては毎日おこなっている	(ご意見なし)	・毎日の部屋の清掃、整理整頓をおこない、玩具、床などの消毒や感染症対策を今後もおこなっていく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・日々の活動内容や利用児への支援方法においてPDCAサイクルで次回に活かせるよう取り組んでいる		・日々打ち合わせ時に目標を確認し、反省会にて振り返りを行い、次の支援につなげていく
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・他事業所の職員と意見交換をし、業務改善を検討している		・他事業所(姉妹園)の職員と研修、意見交換を継続していく
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・社内、社外研修への参加、社内研修報告会を行い職員の資質向上を行っている		・今後も社内、社外研修へ積極的に参加し、社内研修報告会を継続していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・会議にてアセスメントを行い、保護者様との面談を行い、利用児の課題を設定した計画書を作成している	(ご意見なし)	・子どもとの関わりや保護者様との会話からニーズをとらえた適切な作成を続けていく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・カンファレンスを行い、計画を立てている ・子ども一人一人の発達の特性をつかむため、職員間でアセスメントを行って計画に取り入れるようにしている		・職員間で子ども一人ひとりのアセスメントを行い個別活動や集団活動の計画を作成していく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・支援会議を行いスモールステップで課題を達成できるよう具体的に支援方法を記載している	・一対一なので、子どものレベル(成長段階)に合わせてパズル、ペン、お箸、ボタンなど学ばせていただきました	・本人・保護者様のニーズを踏まえ、職員間で会議をし、本人の課題を客観的に分析し、支援計画を作成していく ・実際に取り入れている支援方法(道具名や教材名など)を計画に掲載している
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・職員間で支援計画を共有し適切な支援について話し合い確認している	(ご意見なし)	・職員間で支援計画を共有し適切な支援方法について話し合いを継続し職員が同様の支援を実施していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・会議にてプログラムの目的、他の職員が意見を出し合っている	・毎週、一つのプログラムが設定されていて月曜日にその成長？を見せてもらえる所が良かったです	・今後も、職員間で意見を出し合い立案していくことを継続していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休暇に合わせて活動内容を変えていく		・生活リズムが大きく変わらないよう受け入れ時間を考慮していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・同じようなプログラムにならないように、スタッフ間でプログラムについて話をしたり、楽しい活動を本やインターネットで調べたり、プログラムがマンネリ化しないように工夫していく		・インターネットや本で楽しい活動を調べたり、職員間でプログラムについて意見交換したり、他事業所プログラムを参考にし、マンネリ化しないように工夫していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・職員間で朝礼を行い、朝の打ち合わせをしている打ち合わせをしっかりと行い、支援内容や役割分担の確認を毎日行っている		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後に反省会を行い、日誌にも支援方法を記入し共有している		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の日誌に記入して、次の日に活かせるように徹底している ・これを継続している		・日々の日誌に事実を正確に記入して、問題解決に向けて支援の検証、改善を継続していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成、見直しを行い、その際に保護者様との面談を持ち、現状の報告をして保護者様のニーズを再確認している ・定期的に会議を持ち、計画書の見直しをし適切な支援の提供をしている		・今後も継続して、朝活や開始前に確認をおこなっていき、適切な支援を提供していく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担任や児童発達管理責任者が積極的に担当者会議に参加するようにしている ・利用児の様子を見ながら、必要に応じて担当者会議を持つように提案している		・引き続き、サービス担当者会議への参加をおこなっていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし		・該当者なし 利用児なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし		・該当者なし 利用児なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎の際には、子どもの様子を尋ねるようにしたり、連携会議を持つようにして、支援内容を共有し円滑な移行支援を行っている		・円滑な移行支援のため情報共有を今後も継続して提供していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・相談支援事業所への引継ぎや情報提供をする ・連携会議等参加の要請があれば応じる		・連携会議等参加の要請があれば応じていく ・保護者様との面談により情報提供の必要性を考え応じていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、積極的に参加するように勧めている		・今後とも研修等積極的に参加するようにしていく ・専門機関の会合に参加することや研修への参加を積極的に行う

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・地域との交流は、現在行っていないが今後考えていく	・コロナでなかなか交流ができないので、落ち着いたらできる事から少しずつ是非再開してほしい ・コロナで仕方ないと思います	・コロナ禍のため、現在行っていないが今後検討していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の方を招待できていない		・コロナの状況を気にしつつ検討していく
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時にしっかりと説明している	(ご意見なし)	・今後も契約時に丁寧に説明していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談を持って、保護者様と話をしている	(ご意見なし)	・今後も面談などで、保護者様に丁寧に説明していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・保護者様に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施や子育てについての座談会などの実施をしている	(ご意見なし)	・引き続き、保護者対象の勉強会については発信をして実施していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日々、連絡帳や送迎時に密に話をするようにしている	・母子登園の日に他のママさんのお話を聞けたり聞いてもらえたりと勉強になりました ・困っていることの相談もできたりと支援して頂けました ・遠方ではなく事業所でしてほしいです	・今後も、連絡帳や送迎時に密に話をするようにしていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者様から相談があった時には、現場のスタッフやサービス管理責任者が対応し相談・助言等をしている	(ご意見なし)	・引き続き、保護者様から相談があった時には、相談助言をおこなっていく ・スタッフ間でも相談・検討をして対応していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・交流会は新型コロナウイルスの状況で自粛している	(ご意見なし)	・月1回の会合を企画し、保護者様の求める情報を提供したり保護者様の企画運営に協力していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者様の思いを十分に聞くようにし、改善点を迅速に対応している	(ご意見なし)	・苦情があった場合は迅速かつ真摯な対応をおこなう ・理由や原因を傾聴し、改善策や説明を適切な職員が対応していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カード、文章を活用しながら、分かりやすく伝えるようにしている	(ご意見なし)	・今後も写真や文字を活用しながら、分かりやすく伝えるようにしていく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・ホームページの更新や保護者様へのお便りで知らせている	(ご意見なし)	・毎月保護者様へのお便りとホームページ内のブログの更新頻度をあげて知らせていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報の取り扱いには十分配慮し、書類を破棄するときは、必ずシュレッダーにかけている	(ご意見なし)	・個人情報の書類は、今後も必ずシュレッダーにかけ破棄し取り扱いには十分気を付けていく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員は目を通している ・感染症で対応等について書面にしたものを保護者様へ配布、周知している	(ご意見なし)	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員が目につく場所に掲示し、感染症の対応等について書面にて保護者様へ周知している
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的な避難訓練を実施している(月1回 火災や震災の想定で訓練している)	(ご意見なし)	・定期的な避難訓練を実施していく(頻度は、児童発達支援は月1回、放課後デイサービスは学期に1回実施。火災や震災の想定し訓練している)
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・外部での虐待防止に関する研修に参加し、参加した職員から研修発表という形で共有している ・子どもや保護者様の小さな変化を見逃さないように心がけている		・研修を受講し、職員に共有していく ・子どもの小さな変化を見逃さないようにしていく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・離席のある子どもに座るように促すときの対応では保護者様の小さな変化を見逃さないように心がけている		・カンファレンスで他の有効な方法がないかを十分検討し、やむを得ない場合は、保護者様への説明をし了承を得るようにしていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者様からの聞き取りと調査票への記載をしている		・保護者様からの聞き取りと調査票への記載をしていき、適切な対応を保護者様と確認していく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例集を作成しており、共有・改善に努めている		・ヒヤリハットの報告書を職員で、共有するとともに、改善に努めていく